

会 議 記 録 (1)

会議名称	平成29年度第2回北本市総合教育会議
開会及び閉会日時	平成29年2月14日（水） 午後3時30分から午後4時48分まで
開催場所	北本市役所会議室3-F
議長氏名	北本市長 現王園 孝昭
出席委員(者)氏名	教育長：真尾 正博、教育委員（教育長職務代理者）：大保木 道子 教育委員：安田 美詠子、教育委員：久保田 篤正
欠席委員(者)氏名	教育委員：金井 裕、教育委員：鈴木 義信
説明者の職氏名	企画財政部長：田中 正昭、企画財政部企画課長：和久津 安史 総務部契約管財課長：山崎 寿、教育部長：吉澤 達也 教育部副部長兼文化財保護課長：磯野 治司 学校教育課長：佐藤 貴広、学校教育課副課長：草野 智広 生涯学習課課長：平井 巖
事務局職員職氏名	教育部参事兼教育総務課長：大島 衡基(司会) 教育総務課管理係長：山本 一真(書記)
会議次第	1 開会 2 市長あいさつ 3 教育長あいさつ 4 出席者紹介 5 議題 (1) 第2期北本市教育振興基本計画と北本市教育施策大綱について (2) 北本市立学校の適正規模等に関する基本方針について（報告） 6 その他 7 閉会
配布資料	ア 資料No.1-1第2期北本市教育振興基本計画の策定作業について イ 資料No.1-2第2期北本市教育振興基本計画の概要と施策の体系の変化 ウ 資料No.1-3計画数値目標（指標）比較一覧 エ 資料No.1-4第2期北本市教育振興基本計画案【概要版】 オ 資料No.1-5北本市教育施策大綱案(H30～H34) カ 資料No.2-1北本市立学校の適正規模等に関する基本方針について キ 資料No.2-2北本市立学校の適正規模等に関する基本方針（素案）の作成方針（概要） ク 資料No.2-3北本市立学校の適正規模等に関する基本方針（素案）の構成一覧 ケ 資料No.2-4北本市立学校の適正規模等に関する基本方針 策定スケジュール概要（案）

会 議 記 録 (2)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
教育部参事兼総務課長	<p>1 開 会 定刻となりましたので、只今から、「平成29年度第2回北本市総合教育会議」を開会いたします。次第に従いまして現王園市長より、ご挨拶をお願いいたします。</p>
市長	<p>2 市長あいさつ (市長あいさつ)</p>
教育長	<p>3 教育長あいさつ (教育長あいさつ)</p>
教育部参事兼総務課長	<p>4 出席者紹介 本日の会議構成員でございますが、金井教育委員及び鈴木教育委員から所用による会議欠席の連絡を受けてございますので、ご報告させていただきます。なお、その他の会議構成員に変更はございませんので、説明事務局職員を含め、各自紹介につきましては、省略とさせていただきますので、ご了承願います。</p>
教育部参事兼総務課長	<p>5 議題 それでは、本日の協議事項に移りたいと存じます。なお、協議事項の進行につきましては、「北本市総合教育会議運営要綱」の第4条第1項の規定に基づき、市長が議長を務めることとなっておりますので、進行につきまして、よろしくをお願いいたします。</p>
市長	<p>只今の事務局のご案内のとおり、議長を務めさせていただきますので、ご協力のほどよろしくをお願いいたします。</p>
市長（議長）	<p>それでは、本日の協議事項に入らせていただきます。本日の議題は次第にお示ししています2件でございます。 なお、議題(1)及び(2)ともに、地域の実情に応じた教育の振興を図るための重点的な施策に関する諸報告としまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第一条の四第1項第一号に掲げる協議事項となりますので、よろしくをお願いいたします。</p>
市長（議長）	<p>まず、議題(1)の「第2期北本市教育振興基本計画と北本市教育施策大綱について」、事務局より報告及び説明をお願いいたします。</p>
教育部長	<p>(1)第2期北本市教育振興基本計画と北本市教育施策大綱について (議題(1)の説明)</p>
市長（議長）	<p>只今、議題(1)の「第2期北本市教育振興基本計画と北本市教育施策大綱について」、事務局より説明がございました。説明にもありましたとおり、「第2期北本市教育振興基本計画」と「北本市教育施策大綱」の変更案につきましては、双方の関係性が認められるものと思われませんが、何かご意見等ございましたらお願いいたします。</p>
大保木委員	<p>この「第2期北本市教育振興基本計画」については、これまでの教育委員会の中で何度も確認を行い、このたび策定したものとなります。</p>

<p>市長（議長）</p>	<p>北本市の教育は、教育を充実・発展させるために、考えつくことは直ぐに実行に移すといった、意欲溢れる教育施策をこれまで展開してきました。また、それに対し、市からも全面的に応援をいただいているものと感じています。この第2期の計画は、こうした姿を継承する計画と考えています。</p> <p>ありがとうございます。教育委員会の「第2期北本市教育振興基本計画」の策定に関しましては承知しました。それでは、「北本市教育施策大綱」の方はどうでしょうか。</p>
<p>安田委員</p>	<p>前回の総合教育会議からの変更点としまして、基本目標Ⅰの「確かな学力と自立する力の育成」の施策の方向性に関する記述の中から、「少人数学級編制」の表記を削った理由につきましては、今後も厳しい見通しとなる本市の予算編成に配慮したものと思われませんが、この「少人数学級編制」に関しての市長のご意見をお聞きしたいと思います。</p>
<p>市長（議長）</p>	<p>本市の学級編制や児童数の推移等を見ますと、これ以上増えることは難しい状況とも考えられ、これは次の議題にも関係しますが、これから先は、本市における「適正な学校規模」というものも探っていかなければならないと感じています。それともうひとつは、世の中の物事が急速に進むこの時代において、教育においても「少人数学級編制」といった、これまで通りのやり方で本当にいいのか、時代と共に変わっていかなければならない部分もあるのではないかと考えています。</p> <p>それと同時に、本市の場合は超高齢化社会を迎え、そして少子化を迎え、こうした中で、今後どのような形で政策を進めていくべきかということを考えて時に、やはり教育についても、総合的なまちづくりの観点から考えていかなければならないと思っています。</p>
<p>市長（議長）</p>	<p>大綱の変更案の「基本理念」の冒頭の記述にあります「先行きが不透明な社会の中で、」の部分についてですが、少々ネガティブな見出しとも感じられます。これから夢を持って子供達を一生懸命育てようという時代だからこそ、個人的には、前向きで、夢を持っていくような教育の形を表す言葉はないものかと考えており、この部分の良い表現について、皆様から拝借いただければと思います。</p> <p>また、この部分に続いて、「夢と志を持ち、困難な時代を乗り越えるため、」の中に記されている「困難な時代」の部分で少々お話をさせていただきますと、今は、色々な物事や技術が本当に進んでいる時代と感じています。</p> <p>社会的にもICT（情報通信技術）の時代、もう一方ではAI（人工知能）やロボットの時代、そうしたものが加速的に進化していく時代に合わせて、教育の方も進化していく時代なのだと感じています。例えば、これまでは不登校となり、家に閉じこもってしまうようなケースでも、今の時代においては、自宅でITを駆使して塾の勉強ができることから、不登校となってしまった子供達に対し、そうした学習環境を持ち込めるのではないかと考えています。しかし、そこでは体験・学習できない部分が、学校教育の目的の一つともなる、集団生活の部分であると私は考えています。</p> <p>近年では、家庭内における兄弟姉妹等が少ない傾向にあり、また、家庭の数自体も、段々少なくなっている一方で、共働きの親御さん達が増えつつあり、そうした昔と異なる環境の中で、会話が上手くできない、コミュニケーションも上手く取れない子供達が増えている様にも感じています。これは大人になっても、当てはまるものと思われれます。</p> <p>こうした課題に対応していくためには、やはり教育の原点に返り、ある程度の競争によって、互いに切磋琢磨し、色々な形で人間関係を築き上げていくといった大切な部分をしっかり捉えながら、今後は進めてい</p>

	<p>かなくなくてはならないと考えています。</p> <p>今までの「少人数学級編成」における「きめ細かな教育」のメリットも重々承知しますが、やはり学校本来の大きい姿、大規模校のメリットの部分もしっかり捉えていただき、今後の学校教育を進めていくべきだと思ひ、先ほどの、安田委員からの質疑に対して、追加や繰り返しのお話しとなり恐縮ですが、「少人数学級編成」については、時代の変化と共に、変えていかなければならない部分もあるかと思っています。</p> <p>また、学級数を見ますと、今は2クラスや3クラスといった状況となり、そのクラスの中でも、かなり小規模な人数のところも見受けられ、本当にこのままで良いのかと感じさせられます。本市の人口を年齢別に見ますと、15歳未満の方達の構成率が10.8%となり、こうした中で、子供達は厳しい環境に立たされているものとも考えています。</p> <p>やはり、集団生活を通して、学校で補完していく大切な部分は、しっかり補っていかなければいけない、そういう思いもあり、「少人数学級編成」については、見直す時期に来ているものと考えています。</p>
市長（議長）	<p>それと、基本目標Ⅰの「確かな学力と自立する力の育成」の4行目のところに「時代の変化や社会の変化」と、世の中の変化に関する言葉が並んでいます。やはり、今までの状況とは違うということ、教育も行政もその変化をしっかり捉えて、今後のまちづくりを進めていかなければならないと考えています。</p> <p>これまでの日本の教育の変化について、私も少し調べてみたのですが、我が国の教育の変化は、自治体の合併が促進するたびに、学校教育も変化してきたものと読み取れます。</p> <p>明治初期の頃には、自然の村として7万以上あったようですが、明治21年の大規模な合併により、その数は約1万6千まで減り、その背景としては、明治19年の小学校令の公布による影響ともされています。これにより、全国一斉に小学校が作られ、これまでの自然村から行政体としての組織に整備され、さらに昭和22年には、いわゆる6・3・3制の現在の学制が敷かれ、新制中学校が全国に設置されることとなりました。</p> <p>新制中学校1校を単独自治体で設置するとなれば、人口8千人から1万人位の行政体が必要であるといったことから、こうした合併が繰り返され、そして、昭和30年代半ばの「昭和の大合併」により、日本に1万ほどあった自治体が、約3千5百に集約された形となりました。</p> <p>明治・昭和の合併の背景には、新しい学校教育への対応とした課題があったことから、このように整理され、現代に至る状況となります。</p> <p>こうした背景と照らし合わせますと、やはり、ある程度の人口がなければ、教育もそうですし、行政においても、今までと同じように実施していくのは厳しい状況にあります。やはり、身の丈に合った行政を進めていくことや、あるいは、次の議題にもありますけれども、学校施設をはじめとした公共施設の新たな維持管理の模索等、色々な視点に立って物事を考え、最良の手段を選択して、教育・行政の共に進めていくことが必要と考えています。</p> <p>教育委員会の第2期教育振興基本計画と教育施策大綱の各々の計画期間は5年間となりますが、その中でも、状況に応じて、見直す部分は柔軟性をもって対応し、これからの行政を含め、色々な形で対応を要する大変な時代になっていることを、お互いに認識しながら、取り組んでいきたいと思っています。</p>
大保木委員	<p>市長が先ほどおっしゃられていました「基本理念」の冒頭の「先行きが不透明な社会の中で、」や「困難な時代」の表現等について、私は、特に違和感はないものと考えています。</p> <p>例えば、勉強ができたから必ず幸せになれるのか、良い学校に入れたことでその人の人生が必ず豊かになるものか、そうした部分では、誰し</p>

	<p>もが不透明なものと感じていると思われます。また、「困難な時代」という意味では、未だ非正規雇用の人も多く、収入面等の不安から、結婚や将来設計にも不安を感じている人も多い世の中であり、そういう意味では、まさしく「困難な時代」であると考えられます。</p> <p>かつて私達が若かった頃の時代の先行きと比べると、あらゆる物事が加速化して変化していく現代においては、まさしく先行きの予想もつかない困難な時代であると感じていますので、このことを示すこの表現方法については、ベターな表現と考えています。</p> <p>また、「少人数学級編成」の件につきましても、今まで通りにやっているとでは発展が難しいということで意見されたと思いますが、私は、この「少人数学級編成」の取組により、本市の子供達が、小学校の入学時からの数年間の中で、落ち着いて学校の授業を受けるという基礎的な習慣をしっかりと身に付け、大きく荒れることなく、子供達が確かな学力と基礎を身に付けてきたものと考えています。この少人数学級編成に係る取組やそのメリットについて、私はずっと見守り・見続けてきましたが、この貴重な取組を大きく変えることや、省くようなことは、現段階ではまだ必要ないものと思っています。</p>
<p>市長（議長）</p>	<p>只今の貴重なご意見について、十分承知しておきます。ほかにご意見はございますか。</p>
<p>安田委員</p>	<p>先ほどの大保木委員の意見に付け加えさせていただきますと、この過酷な時代の中で限られた予算を、人的なことに投資すべきか、それとも物質的なことに投資すべきか、その選択が難しいことも理解しますが、私としましても、この「少人数学級編成」の取組を見直すというよりは、これまでと同様に続けてほしい気持ちがあります。少しオーバーな例えになるかもしれませんが、できない子を置き去りにするような、そんな感じがしますので、今一度、よくお考えいただきたい気持ちがあります。</p>
<p>市長（議長）</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。これまで市としましても、色々な支援員等を含め、人員配置に関する予算配当に尽力してきました。</p>
<p>安田委員</p>	<p>もちろん承知しており、感謝しています。</p>
<p>市長（議長）</p>	<p>折角ですので、ここで、新年度予算の編成状況について少しお話しさせていただきます、その構成率を申し上げますと、1番多いものとしましては、やはり民生費で約44%となります。これは今後も上昇していくことが予想されます。2番目が公債費で構成率は約12%、そして3番目が教育費となり約11%、次いで人件費が約10%、土木費が約8%、衛生費が約7%という順となり、この構成比につきましては、ひと昔前では、道路整備等の関係から土木費がその多くを占めていましたが、現在では、民生費が1番大きいウエイトを占める状況となっています。</p> <p>そして、何がこういう厳しい状況になってきたかと言いますと、本市は、40数年前の市政施行前後の時代に、私もその一人なのですが、東京のベットタウンとして、30歳代から40歳代前半の働き盛りの方々が、多く本市に住まいを構えられ、人口が急増しました。各家庭の子供達も3人から4人位と多かった時代です。</p> <p>しかし、40数年たった現在では、当時の子供達も市外へ転出し、当時働き盛りであった人達も年金生活となり、医療費を含めた多くの民生費が必要な時代となっています。この当時の働き盛りであった人達というのは、約8割の方がサラリーマンであった訳ですから、東京で働き、収入を得て、住民税として本市に税金を納めていただく流れとなっていたのですが、現在は、その税収も落ち込み、財源確保に苦慮する時代となっています。</p>

その一方で、町を見渡していただきますと、今は、本当に便利で住みやすい町となりました。コンビニやスーパーといったチェーン店が至る所にごぞいます。こうしたチェーン店が多く進出してくるということは、本市は購買力があるとも考えられます。しかし、その一方で、各商店もどんどん閉店してきています。

このチェーン店というのは連結決算ですから、本店を置く自治体に税金が納められ、本市には税金は入ってこない仕組みとなります。ですから、本市のこの税収の落ち込みに歯止めをかけ、何とか歳入・歳出の歯車を上手く噛み合わせて、円滑に回るようにしなくてはならないと考えています。また、圏央道といった高速道路ができ、暮らしは大変便利になりました。しかし、市民の皆さんは高速道路に乗って静岡・山梨・新潟などの県外へ出掛け、その先で消費活動をして地元のお土産を買ってきます。これは電車に例えても、同じ状況と考えられます。

交通の便をはじめ、本市の暮らしが便利になればなるほど、経済は外へ流れてしまうといった厳しい経済・財政状況の中で、これまでの事業を、従来通りに続けていくことが、本当に厳しい状況となっています。

如何にして質を下げずに、今までの事業を継続していくかという点で、委員の皆様のご協力をいただきながら、そして知恵を絞りながら、今後取り組んでいかなければならないと考えています。

本市の経済活動を何とかしなければならぬという状況から、私は「稼ぐまちづくり」と申し上げているのですが、これからは、民間の方にだけ頼るのではなく、「行政の方でも稼ごうではないか」ということで、今回の駅前ホテルの誘致を行ったものとなります。ここで、市外からのお客さんを迎え、消費活動を活発に行っていただき、その取組を通じて、少しでもお店が増え、活性化に繋がることを願っています。

このように、経済の活性化のための取組を徐々に進めていくことを考えており、今回の野外活動センターのバンガロー設置整備等につきましても、その取組の一環ということで、子供達のため、そして、色々な所から人を集め、経済活動を活発化させる仕組みづくりとして、取り組んでいるところでございます。

これらの取組を通じて、何とか地元商店街の皆さんに元気になっていただきたいと同時に、これを我々としても支援するために、何とか手を打ちたいと考えているところです。

こうした経済の活性化・まちづくりに関する各取組の意義と、本市の厳しい財政事情等を十分ご理解いただき、なおかつ、各委員の皆様のご心配される部分につきましても、今後、何とかやっていく方法を考えていきたいと思っておりますが、良い教育を実施するためには、財源がなければできない部分もございしますので、手法等を含め、是非とも、良いお知恵を拝借できればと考えています。

近隣自治体と比べてもわかるとおり、本市の場合は市街地が狭いことから、現在、各地で開発が進む自治体とは状況が異なります。また、財政上で一番安定している財源は固定資産税となりますが、この税科目の収入も他市と比べ厳しい状況となっています。

これからの厳しい世の中を進んでいくのであれば、やはり、夢を語るような、そして輝いていくような、人を引き付けるような、そういう教育を進めていくことについて、この大綱に示せればと考えています。

この厳しい財政状況の中において、教育をはじめ、市政をいかに上手くマネジメントしていくかというのが課題でありますし、急がなければ遅いくらいの一番の問題と考えています。市の総力を挙げ、行政だけでは本当に取り組めない状況となりますので、市民の皆さんのご理解とご協力を得ながら、一丸となって進めていかなければならないと思っております。

その次の議題にもありますが、学校施設をはじめとした公共施設の今後の適正規模という部分が、今後の市政の行方を左右する一番の課題と考えており、委員の皆様をはじめ、市民の方のご理解とご協力を得なが

	<p>ら、本当に進めていかなければなりません。</p> <p>保育園や学童保育室をはじめ、小学校の給食施設についても築後40数年が経過し、施設の老朽化から色々と支障が生じてきています。</p> <p>こうしたところも、何とかしなきゃいけない、何とかしたい、と常日頃思っているのですが、厳しい財政事情から進めることができない状況に、本当に胸を痛めております。</p> <p>そういう部分もご理解いただき、そして、委員の皆様と一緒に、今後進めていきたいと考えておりますが、その中で、私が今、優先的に進めたいことは、市内の危険箇所への対応となります。道路も建物も含め、まず、危険箇所への対応に直ぐ取り組みたいと、そして、その次には衛生面での対応も早急に行いたいと思っています。特に、小さな子供達が入所する保育園や老朽化した給食施設を早く改善し、健康を害するようなことがあってはいけないと考え、そのための財源探しに奔走しております。</p> <p>大綱を策定するに当たり、こうした財政事情や背景を汲み取っていただきたく、この場を借りてお話しさせていただいたことを、ご理解いただきたいと思っております。</p>
安田委員	<p>市長のお考えや子供達に対する想いを理解しますとともに、そのご苦労について痛み入ります。では、大綱についてですが、市長のご意見にありました、「基本理念」の冒頭の記述の「先行きが不透明な社会の中で、」を一旦除き、「北本の子供たちが夢と志を持ち、」という記述から始まる表記とすることでは如何でしょうか。</p>
市長（議長）	<p>その他にも委員の皆様から良い言葉が見つければ、それを採用することでも良いと思われませんが、どうでしょうか。</p>
久保田委員	<p>小さな子供達が高度な情報機器を駆使する時代でもあることから、その辺を含めた言葉を追記するのも良いと思われれます。</p>
市長（議長）	<p>本当に社会は凄いスピードで進んでいます。子供達だけでなく、親御さん達もそうなのですが、だれに教わるわけでもなく、見様見真似で、どんどん覚えていきます。他の自治体の例としてよく見かけますが、学校教育もタブレット端末を使った授業を推進する時代となっており、財源があれば、今後はこうした部分に投資していくべきものと考えています。</p> <p>教育分野でも最先端を走り、人々が「北本市は進んでいる、北本市に住みたいな」と考えていただけるような、そんな方向に進んでいければと願っています。</p> <p>この大綱の「基本理念」の冒頭の記述につきましては、只今の久保田委員のご意見も踏まえ、何か他に代わる良い言葉や追記する表現等について、事務局や委員の皆様から寄せていただき、後日、その部分の確認のもと、ご承認いただくといった方法で良いかと思われれます。大綱の他の部分を変えるような案件でない訳ですから、この決定方法とすることでどうでしょうか。事務局にも確認をお願いします。</p>
吉澤副部長	<p>それでは、本年度の総合教育会議が本日で終了予定となること、そして、大綱の切替が迫っている時期であることの両方を踏まえ、只今、市長からご提案いただきました大綱の決定方法により、策定事務を進めていきたいと思っております。</p> <p>その手続方法をあらためて整理させていただきますと、「基本理念」の冒頭の記述について再検討を要するものの、大綱の全体内容には問題がないことから、本日の大綱の案を一旦の承認とし、今後、その再検討の結果について、市長・教育委員の皆様にご確認いただき、その変更内容について、追加承認をいただくという形式にて進めてよいか、あ</p>

<p>市長（議長）</p>	<p>らためてご確認をお願いします。</p> <p>只今、事務局から確認依頼のありました手続方法につきまして、何かご意見等はございますでしょうか。私も次回会議への持越しとせず、この方法で良いと思われませんが。</p> <p style="text-align: center;">（全員、異議なしの声）</p>
<p>市長（議長）</p>	<p>ありがとうございます。色々ご意見がありましたが、この、北本市教育施策大綱の変更案につきましては、一旦の承認とさせていただき、後日、「基本目標」の冒頭の記述の再検討の結果につきまして、委員の皆様の確認のもと、その追加変更を行うこととさせていただきます。</p>
<p>市長（議長）</p>	<p>続きまして、議題(2)の「北本市立学校の適正規模等に関する基本方針について（報告）」、事務局より報告及び説明お願いいたします。</p>
<p>教育部長</p>	<p style="text-align: center;">(2)北本市立学校の適正規模等に関する基本方針について（報告）</p> <p style="text-align: center;">（議題(2)の報告・説明）</p>
<p>市長（議長）</p>	<p>只今、議題(2)の「北本市立学校の適正規模等に関する基本方針について（報告）」、事務局より報告及び説明がございました。その手続きの考え方を含め、報告事項や今後の予定等につきまして、何かご意見等ございましたらお願いいたします。</p>
<p>市長（議長）</p>	<p>それでは、私の方からも状況を報告させていただきます。</p> <p>現在、庁内におきましても、今後の公共施設等の適正な維持管理や適正規模等に関しての検討を行う検討委員会等を通じ、色々な準備を進めています。そうした中で、当該議題につきましては教育委員会の部分となるものでございます。</p> <p>補足の話として、先ほどの議題に引き続き、経済的な話ばかりするようで申し訳ないのですが、やはり、この学校施設をはじめとした公共施設等の適正化を進めていくことで、国の方からも、有利な地方債の発行、そして有利な交付税の交付を受けられます。しかし、これらの利用に関しては、期限の定めのある、いわゆる時限的な措置のものが多く、これらを逃してしまうと、それこそ何も進まない状況となります。</p> <p>これまで築き上げてきた公共施設等の適正化を図ることは、本当に残念なことなのですが、急務であることもご理解いただきますとともに、委員の皆様からも、色々な形で御意見をいただきたいと考えております。</p> <p>今後、委員の皆様の方でも、お気づきの点、ご意見等がございましたら、いつでも、私のところへ雑談を通じてでも結構ですので、御知恵を拝借したいと考えております。そしてその中から、本市にとって最良となる方法を見出していきたいと考えていますので、是非、ご協力のほどよろしく申し上げます。</p> <p>庁内の検討委員会にて予定します、今後の様々な手続等のスケジュールもあることから、今回、事務局より示されました、学校の適正規模等に関する基本方針の策定スケジュールに基づき、何卒、基本方針の策定についてお願い申し上げますと同時に、教育委員の皆様の色々な想い、そして個人的意見でも構いませんので、今後もお聞かせいた頂ければと思っています。</p>
<p>市長（議長）</p>	<p>特にご質問、ご意見等がなければ、事務局からの報告事項及び今後の予定等につきましては、ご承認ということでよろしいでしょうか。</p>

	(全員、異議なしの声)
市長 (議長)	それでは、議題(2)の「北本市立学校の適正規模等に関する基本方針について(報告)」につきましては、承認とさせていただきます。
市長 (議長)	以上をもちまして、本日の議事はすべて終了いたしました。 ここで、議長の任を解かせていただきます。円滑な議事進行にご協力賜り、誠にありがとうございました。
教育部参事兼総務課長	6 その他 それでは次第の5「その他」でございますが、議事内容以外の意見交換の場とさせていただきます。ご意見等ございましたらお願いいたします。
	(特に意見なし)
教育部参事兼総務課長	7 閉会 以上をもちまして、本日の会議はすべて終了いたしましたので、平成29年度第2回北本市総合教育会議を閉会といたします。慎重なご審議賜りありがとうございました。
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきを証するためここに署名する。 平成30年3月 9 日</p> <p style="text-align: center;">会長(北本市長) <u>理石園孝昭</u></p>	